

1. 大会テーマ：道内観光地の将来展望-交通体系の変化を見据えて-

2. 大会の趣旨

国内有数の温泉地として知られる登別では、その豊富な泉質を強みにして北海道内、さらには全国からの観光客を受け入れてきた。近年では、インバウンド観光客も増加してきているが、地元企業等の有志による「鬼花火」の実施に加え、白老地区におけるアイヌ文化の継承・発信拠点として整備していくことによって、登別・白老の広域観光圏としての拠点づくりを目指している。

しかし、将来の北海道新幹線の札幌延伸が実現した際には、高速交通体系の後背地になる可能性があり、観光地としての長期的な戦略が求められている。そこで、本シンポジウム・エクスカージョンでは、登別温泉地域の歴史や特徴を踏まえつつ、交通体系の変化が登別に対してどのような影響を与えうるのか、また変化に対してどのように対応しようとしているのか、登壇者の報告を基に考えていく場となることを期待している。

3. 日程：2019 年 10 月 26 日（土）・27（日）

10 月 26 日（土）

10:30～ 常任幹事会

11:30～ 評議員会

13:30～ 開場

14:00～17:30 シンポジウム

18:30～ 懇親会

10 月 27 日（日）

8:30～17:00 エクスカージョン（詳細は第 3 報でご案内します）

4. 会場

シンポジウム・懇親会：第一滝本館

幹事会・評議会：登別観光コンベンション協会

5. シンポジウムプログラム（発表者など未定の部分は第 3 報でご案内します）

14:00～14:15 登別地域の概要について

14:15～14:45 登別温泉の歴史の変遷、特徴、現在の取り組み、登別白老地域の広域観光圏について

14:45～15:15 楢引素夫（青森大学）：新幹線延伸が地域の観光に与える影響（過去の事例から）

15:15～15:45 ニセコ観光の現状や展望（新幹線延伸も視野に入れて）

司会：柳井雅也（東北学院大学）

〈休憩〉

16:00～17:15 討論

17:15～17:25 閉会挨拶

6. 参加費（予定）

懇親会費：5,000 円

宿泊費：8,000 円（1泊朝食付き）（3-4名の相部屋が基本となります）

（予約は申し込み専用サイトからとなります。開設しましたら学会 web サイトに掲載します）

巡検参加費；2,000 円

7. 大会実行委員会

実行委員長：古林英一（北海学園大学）

実行委員会事務局長：大貝健二（北海学園大学）・浅妻裕（北海学園大学）

実行委員：菊地達夫（北翔大学）、柳井雅也（東北学院大学）

オブザーバー：土屋純（関西大学）、村中亮夫（立命館大学）

【問い合わせ先】

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4-1-40

北海学園大学経済学部 浅妻裕

email: yu_asa(a)nifty.ne.jp

※(a)を@に置き換えてください。